

様式第5号 (第6条関係)

令和5年 3月 31日

(宛先) 湖西市議会議員

湖西市議会議員

氏名 加藤 弘巳

政務活動費収支報告書

湖西市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、令和4年度政務活動費について次のとおり報告します。

1 収入 政務活動費 120,000円

2 支出 (単位:円)

項目	支出額	主たる支出の内容
調査研究費		
広報・広聴費		
要請・陳情活動費	17,670円	各省庁・国会議員への陳情
研修費	28,870円	セミナー受講費 (地方議員研究会)
資料作成費		
資料購入費	15,890円	「書籍購入」など
合計	62,430円	

3 残額 57,570円

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤弘己

会計年度	令和4年度	支出番号	1		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		22,930円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
1	令和4年 4月18日	参加 負担金	全国市町村国 際文化研修所	7,990円	●参加負担金 7,550円 ●振込手数料 440円
2	令和4年 4月26日	交通費	JR 東海	14,940円	●旅費内訳書との差額 (往復自由席 -1,260円)
		宿泊料			●宿泊費 円 ●振込手数料 円
		資料 購入費			●資料名
		その他 ()		円	
支出目的	総務経済委員会の研究テーマである「防災と議員の役割」を学ぶため。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

がましんキャッシュサービス利用明細書

いつもご利用いただきましてありがとうございます。



地元とともに 蒲郡信用金庫

ご利用年月日

04-04-18

お取引番号

口座番号

別当(株) 正千原(株) 二千原(株) 千原(株)

0 0 0 8

お取引内容

お取引金額

¥7,550*

お取引後残高

¥0

お取引

¥10*

振込

手数料 ¥440

時刻 14:05

サイ)センコクシヨウソクケンシユウサイイタ

ンセ" 様

カトウ ヒロミ 様

印紙税申告納付につき豊橋税務署承認済

http://www.gomashin.co.jp/

がましんキャッシュサービス利用明細書

いつもご利用いただきましてありがとうございます。



地元とともに 蒲郡信用金庫

ご利用年月日

04-04-18

お取引店

お取引店番一受付番号

口座番号

万円券(枚) 五千円券(枚) 二千円券(枚) 千円券(枚)

0 0 0 8

お取引内容

お取引金額

¥7,550*

お取引後残高

振込

手数料 ¥440

時刻 14:05

通帳員

現金

¥0

おつり

¥10*

振込

サイ)センコクシヨウソクケンシユウサイイタ
ンセ" 様
カトウ ヒロミ 様

印紙税申告納付につき豊橋税務署承認済

http://www.gomashin.co.jp/

乗車券 (加えり) (幹)

唐崎 → 新原
経由: 湖西・新幹線・豊橋・東海道
4月27日から5月2日まで有効
¥8,140

2.-4.26 新所原駅 - MR 発行 C35
1011-02 (3-夕)

乗車券 (ゆき) (幹)

新所原 → 唐崎
経由: 東海道・豊橋・新幹線・湖西
4月27日から5月2日まで有効
¥***

2022.-4.26 新所原駅 - MR 発行 C35
40011-01 (3-夕)

新幹線自由席特急券 / 特定特急券

京都 → 豊橋

4月28日当日限り有効 途中出場できません。
¥3,400

2.-4.26 新所原駅 - MR 発行 C52
1011-04 (3-夕) 経1

新幹線自由席特急券 / 特定特急券

豊橋 → 京都

4月27日当日限り有効 途中出場できません。
¥3,400

2022.-4.26 新所原駅 - MR 発行 C52
40011-03 (3-夕) 経1

印

領収書 No 520133

領収書

刃口藤子様

金額 ¥14,940円
[消費税等込み]

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年4月26日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

新所原駅

現金出納社員

領収書 No 520133

領収書

刃口藤子様

金額 ¥14,940円
[消費税等込み]

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年4月26日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

新所原駅

現金出納社員

令和4年 5月 2日

湖西市議会議長

馬場 衛 様

湖西市議会議員

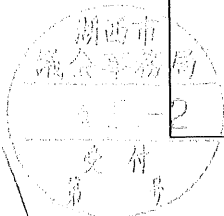
氏名 加藤 弘己

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項 目 (口にし点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和4年4月27日(水)～28日(木)		
場 所	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎)		
内 容	防災と議員の役割		
目 的 (市政との関連性)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員として災害時にいかに活動すべきか。 ・ 災害復旧復興時に議員がすべきこと。 ・ 防災推進施策の充実。 <p>以上のことを学び災害時における議会の役割をふだんから議論し防災・減災に積極的に取り組み、しっかりとした対策を実行するため。</p>		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の先進的な対応と取組を学んだが、意見交換や講義・演習からだけ学ぼうというのは疑問であることを確認した。 ・ 市役所の管理状況を責めるという風潮は良くないし、社会資本を市民全体で充実させなければいけないと痛感した。 ・ ワールドカフェの手法を学んだ。平時の話し合いを大災害時にどのように生かしていったらよいか心がけたい。 		



報告詳細

以下は主な内容と感じたことである。

1. 「災害自治体の受援と応援」

平成 28 年熊本地震の対応と教訓

～失敗から学んだこと～ 熊本市 井上 学氏

① 災害は起こるものだと思え！

- ・ 慢心注意（市民も）⇒研修、訓練
- ・ 経験や失敗しなければ分からないことばかりだから言って、災害が起こるまで待つのか！？
- ・ 近道はない！日頃の積み重ねが大事！変化への対応

② 時代の変化への対応

- ・ 情報リテラシー、新しい技術への対応と活用（知識や情報を正しく理解し、活用できる能力）
- ・ 人権教育、ダイバーシティなど（ビジネス環境に柔軟に、迅速に対応）

③職員（社員）の対応力

最後に頼るのは個々の能力、対応力！

これも日頃からの積み重ねがあるからこそ対応できる。

「明日は我が身」どこにでも災害対応は突然おとずれる！

2. 「土石流災害における熱海市議会の対応と取組」

熱海市議会 議長 越村 修氏

(1) 被害の状況

令和3年7月3日、熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川の源頭部（海岸から約2km 上流、標高約 390m地点）から逢初川に沿って流下した。

この土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたり、多くの人的・物的被害が発生した。

(2) 人的被害・住家被害（令和4年3月 28 日 時点）

死者（災害関連死 1 名含む） 27 名、 重症 1 名、 軽傷 3 名

行方不明 1 名

全壊 76 棟 半壊 12 棟 一部破損 54 棟

(3) 議会に関する動き

①議会と行政との連絡体制のルール化

- ・議長・副議長・議会事務局で問い合わせ情報を一括管理
- ・原則議会事務局から災害対策本部へ連絡する方法に統一
- ・災害中であるが9月15日に9月定例会を1日で実施した。

②国との意見交換と要望

- ・棚橋防災担当大臣現地視察、意見交換
被災者再建支援法の適用
- ・菅総理の避難所視察と意見交換 激甚災害の指定
- ・武田総務大臣、岸防衛大臣 スマホに係るGPS位置情報の活用
自衛隊派遣のお礼及び継続支援
- ・自民党国土強靱化推進本部長二階幹事長 現場視察と意見交換
復旧・復興に対する国の支援要望、GoToトラベルの割引率上乘せや対象地域拡大
- ・赤羽国土交通大臣との意見交換
有料の自動車専用道路「熱海ビーチライン」無料化と原付自転車の走行可能要望
- ・高市政調会長に対し要望
盛土に関する要望
全国統一的な法整備、違反行為の公表、事業者が強い規制を回避できないように基準を明確化、財政支援措置の創設

③ホテル避難所の選定

- ・新型コロナウイルス感染予防、高齢者、弱者への配慮等

③ 伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会（いわゆる100条委員会）

地方自治法第100条の規定による事務の調査を行うための特別委員会設置

「所感」

- 人命最優先と都市のインフラ基盤の整備が重要であると痛切に感じた。
- 議会や議員は情報の受信・発信のつなぎ目となり、執行機関の災害対策がよりの確に進むよう働きかけなくてはいけないと感じた。
- 市、県、国は一体となり事に対応が重要であり、縦横の人間関係をしっかりとしたものになりたい。（要望、陳情は重要）

4. 防災と議員の役割

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一氏

防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子氏

(1) 平時の防災、災害時の議会・議員活動

- ・進み続ける高齢化⇒75歳以上は25年で2.6倍
- ・激増する単身世帯⇒25年で3.2倍
- ・障がい者⇒25年で62.5%増

現状は

- ・近所づきあいは減っている！
- ・町内会自治会活動への参加も低下！
- ・公助にも限界⇒自治体職員は25年で16.5%減！
- ・誰が逃げるのを支援したか！



- ・近所・有人と福祉関係者の支援力が強い。戸別訪問の徹底！
- ・個別計避難画・地区防災計画で近所や福祉とつながる。
- ・障がい者にとって地域の助け合いは重要だが、必ずしもうまくおこなわれていない。
- ・福祉施設BCP,福祉避難所が必要！
- ・災害関連死を防ぐ組織強化。
- ・在宅高齢者支援、障がい者等の早急な見守り、保険・医療・福祉・生活支援、拠点が急務（コロナ禍においては特に重要）
- ・地元大工による住宅耐震化改修への参入。

「まとめ」

社会資本 Social Capital

人や地域のつながり＝信頼の絆＝ご近所力

◎社会関係資本は、人々を賢く、健康で、安全で、豊かにし、公正で安定した民主主義を可能とする。

◎日常から人間関係、近所関係を良好にし、排除される人がいない、魅力ある地域を作ることが、災害や危機にも強くなる！

「所感」

過去の災害を教訓としながら、「疑似被災」「震前過疎」などにとらわれず、また、これから起こるであろうと想定される南海トラフ地震など過去や未来の災害と並走しながら復旧復興と未来に向かって知恵を出していかなければならないと感じています。

以上

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を付すること。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤弘己

会計年度	令和4年度	支出番号	2		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		5,580円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加 負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 4月20日	資料 購入費	赤旗浜松出張 所	5,580円	●資料名 しんぶん赤旗日曜版4月～9月
		その他 ()		円	
支出目的	広く社会を知り議員活動の参考とするため。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との

関連性を記入。

様式第7号（第7条関係）

支出伝票

湖西市議会議員

氏名 加藤弘己

会計年度	令和4年度	支出番号	3		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		4,730円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 9月 1日	資料 購入費	精文館書店	4,730円	●資料名 ・LGBTの不都合な真実 ・大衆の狂気
		その他 ()		円	
支出目的	ジェンダー平等、多様性が尊重される社会の実態を知り差別解消に取り組むため。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領収書
加藤 さん様

領収日 2022年09月01日
領収書No. 0011815765
(伝票 No. 0011815765)

¥4,730-

(内 (10%) 税抜 ¥4,300- 消費税 10% ¥430-)
(内 (8%) 税抜 ¥0- 消費税 8% ¥0-)
上記消費税 430円を含みます
注) Sは軽減税率 (8%) 適用商品

但し、

上記正に領収いたしました
精文館書店 二川店 0532-41-8201
愛知県豊橋市大岩町字北山78-7

 精文館書店

精文館書店 二川店
TEL 0532-41-8201

★★★ お知らせ ★★★

9/1より 営業時間 朝9時～夜9時

T-ポイントがご利用頂けます

★ご意見ご要望はお客様相談室へ
0120-923-361 (受付10時～20時)

レジNo.0011

伝票No.0011815766 -001

2022年09月01日(木) 14時07分

[再発行]

レジNo.0011

伝票No.0011815765 -001

2022年09月01日(木) 14時06分

取引レシート

営業日 2022年09月01日(木)

会員NO

書 大衆の狂気 ジェンダー・人

9784198854467 1 3,080

書 L G B Tの不都合な真実 活

9784798085564 1 1,650

小計 2 4,730

注) Sは軽減税率 (8%) 適用商品

合計 4,730

※内訳(10%) 4,300

(消費税) 430

※内訳(8%) 0

(消費税) 0

万券 10,000

返金額 5,270-

元伝票扱者

扱者



89897052699770381264

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤弘己

会計年度	令和4年度		支出番号	4	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額		5,580円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 10月14日	資料 購入費	赤旗浜松出張 所	5,580円	●資料名 しんぶん赤旗日曜版10月～3月
		その他 ()		円	
支出目的	広く社会を知り議員活動の参考とするため。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤弘己

会計年度	令和4年度	支出番号	5		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		5,940円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
1	令和4年 11月14日	交通費	JR 東海	5,940円	●旅費内訳書との差額
		宿泊料			●宿泊費 円 ●振込手数料 円
		資料 購入費			●資料名
		その他 ()		円	
支出目的	「第17回災害時のトイレ・し尿処理研修会」参加のため				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。



領収書-No 26
窓口-No 102
駅-No 1244
領 収 書

加藤 弘己 様

金額 ￥5,940円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年11月14日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



領収書-No 26
窓口-No 102
駅-No 1244
領 収 書

加藤 弘己 様

金額 ￥5,940円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年11月14日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



様式第9号（第7条関係）

令和 4年11月 21日

湖西市議会議員 馬場 衛 様

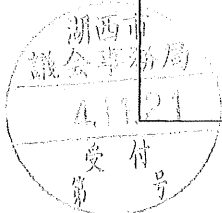
湖西市議会議員 加藤 弘己

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和 4年 11月16日 (水)		
場所	静岡市清水文化会館「マリナート」小ホール		
内容	<p>地震による被害のほか、近年数多く発生している風水害に伴うトイレ・し尿処理に係る被害者支援の実情を学ぶことにより、災害への的確な備えを行う。また、業界としては行政の対策に貢献できるよう取り組みを進める。</p> <p>講演内容</p> <ol style="list-style-type: none">「災害時におけるし尿の対応について」 環境省関東地方環境事務所資源循環課 巨大災害廃棄物対策専門官 杉山 善昭 氏災害多発国日本のレジリエンス ～TKBで災害関連死を防ぐ～ 石巻赤十字病院 副院長 植田 信策 氏 一般社団法人避難所・避難生活学会 代表理事地方公共団体と関連団体との連携による衛生的なトイレ環境の確保 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤 氏		



<p>目 的 (市政との関連性)</p>	<p>市民生活を守るために地震や風水害に伴うトイレ・し尿処理の対応について学ぶため</p>
<p>成 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理、仮設トイレ、し尿の汲み取りは自治体だけで対策マニュアルを策定するのではなく事業者の意見を取り入れ災害時に円滑な仮設トイレの設置場所や廃棄物の片づけができるように協定をしておく必要がある。 ・災害関連死を防ぐためには、安心して使えるトイレ、温かい食事の提供、雑魚寝しないためのベッドが必要であることが理解できた。 ・災害時のトイレ対策としてやるべきことは、1. トイレ対策の司令塔を明確にする 2. 防災トイレ計画を作成する 3. 時間経過に応じて複数の災害用トイレを備える 4. 災害用トイレの使用方法、掃除ルールを周知する 5. 関連団体と連携する体制を構築する 以上の5点がポイントだった。 ・トイレ環境確保のためには事業者との連携が必要。 1. 分散備蓄による携帯トイレ支援と使用方法周知および回収に関する連携 2. 快適トイレの調達・配備と維持管理を徹底するための連携

報告詳細

講演1 「災害時におけるし尿の対応について」

災害廃棄物⇒ごみ置き場の周知（広い土地の確保）⇒事業者団体との平時からの連携体制づくりが必要。

トイレ・し尿⇒水害の場合は便槽に水や土砂が流入し汲み取りの依頼が多数発生
⇒地域ごとに汲み取りするなど効率的な対応
⇒仮設トイレの設置（設置場所リストの共有）⇒和式から洋式へ
⇒管理体制の構築（誰が管理するのか？）⇒清潔に保つには住民の意識も重要
設置部署の維持管理の考え方を事前に把握しておくこと

災害時の浄化槽被害対策マニュアル作成⇒平時における災害予防の検討・実施項目や、災害時の浄化槽の緊急対応を明確にし、被害地域の汚水処理システムの迅速な復旧等の実現を図る。⇒いざという時に、どのような行動が必要になるか、事前

にマニュアルを確認しておくことが重要！

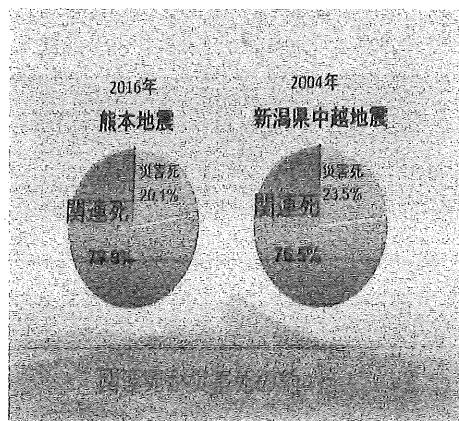
・浄化槽が地震や洪水等により被災した場合、生活排水が垂れ流しとなったり、トイレの使用が不可能となったりするなど、環境や公衆衛生、社会活動に重大な影響が生じるおそれがある。近年水害による被害が甚大化している社会基盤を破壊する規模の災害が全国各地で頻繁に発生しており、浄化槽は他の汚水処理施設に比べ地震による被害が少ないといわれているものの、躯体の損壊、槽内装置の故障等の被害に際しては、行政・浄化槽維持管理業者等・住民の迅速な対応が求められている。

・各主体（地方公共団体、指定検査機関、浄化槽業界団体、保守点検業者、清掃業者、住民）について、連携体制の構築が必要である。⇒被害地域の迅速な復旧

講演Ⅱ 「災害多発国日本のレジリエンス ～TKBで災害関連死～」

平成30年間で災害関連死が約4000人。熊本地震では直接死の4倍。

日本の災害時には、災害直接死に比べて災害関連死が多く、その後の避難生活の悪化による死亡が多い。



原因⇒東日本大震災では避難所生活による心身の疲労が最も多い。

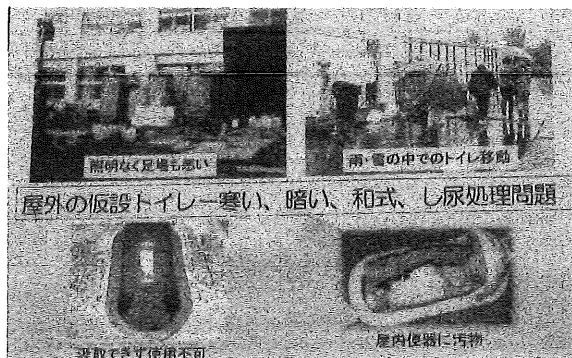
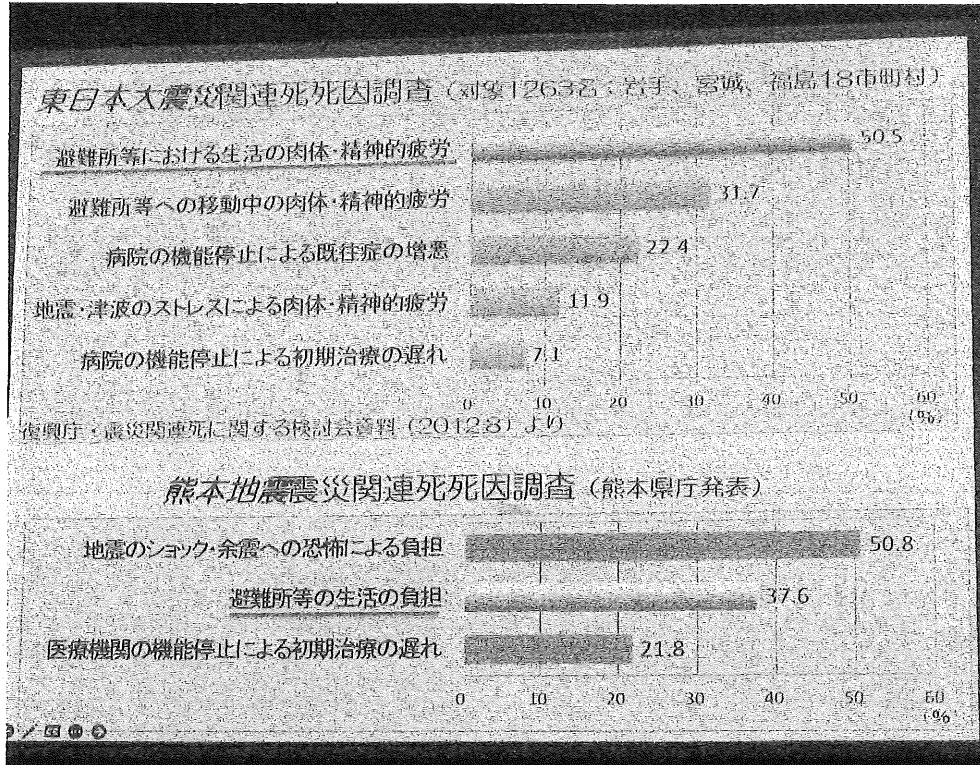


床での雑魚寝⇒エコノミークラス症候群、粉塵吸入による呼吸器障害、高齢者の生活不活発病、不眠やストレスによる高血圧が認められた。

トイレの不足⇒トイレ利用を減らすために食事や引水を減らす避難者に脱水症状などが起こっていた。

栄養の偏った食事⇒おにぎりや菓子パンなどの炭水化物に偏った食事、タンパク質、ビタミン群の不足により身体機能や活動性の低下をもたらした。

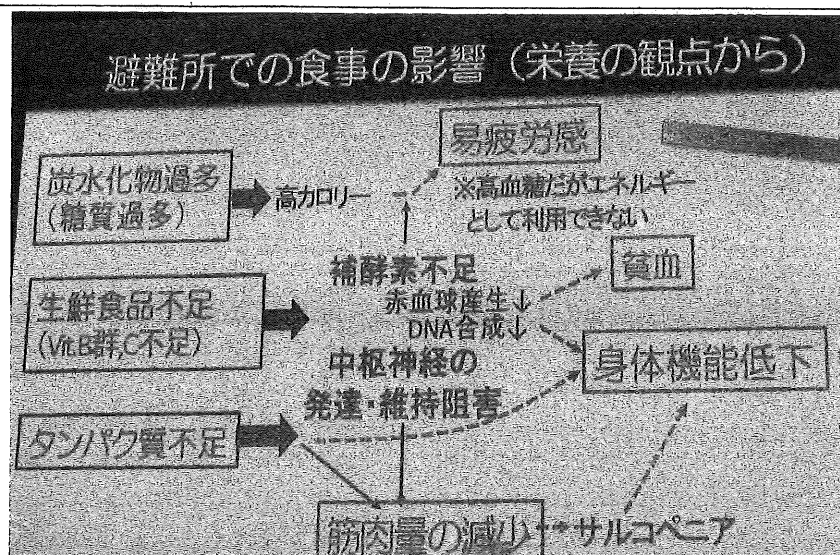
- ・避難所の生活環境の改善に取り組む。
- ・発災後には、簡易ベッド、簡易台所などの設備等を整備する。
- ・避難所における生活環境の改善は、市町村の取組だけでなく県、国、官民の連携で行う。



避難所環境の問題－トイレ



イタリアのコンテナ型避難所トイレ



おにぎりや菓子パンだけでないイタリアの避難食



関連死を防ぐために「TKB48」⇒イタリアでの災害対応を参考

TKB48とは、快適で十分な数のトイレ、温かい食事を提供するキッチン、雑魚寝しないためのベッドを48時間以内に避難所に設置する。



災害関連死を防ぐためには避難所での健康被害の未然防止を図ることが必要でありそのための目標として避難所環境が改善されるようTKB48の全国普及を進めなけ

ればならない。被災しても人間らしい生活ができることによって、被災者が自立していくためにも必要なツールである。

講演Ⅲ 地方公共団体と関連団との連携による衛生的なトイレ環境の確保

被災してトイレに行くまでの時間は3時間以内が4割を占めている。



仮設トイレの設置は3日以内⇒34%

1ヵ月以上かかるところもある14%

トイレを我慢するのは、くさい、汚い、暗い、怖い、寒い、遠い等。

⇒トイレが使えなくなると衛生面の悪化、精神面でも悪循環を生む

切れ目のないトイレ環境にするためには、携帯トイレ（トイレに袋をかぶせる）、簡易トイレ（トイレのない所に設置）、マンホールトイレ、仮設トイレがあるが『トイレがあればよい』という考えは災害時に適用しない

⇒災害時だからこそ、安心して使用できるトイレが必要。そのためには、設置ともにトイレの維持管理を業者へ委託する方法がよい。

⇒快適なトイレは命を守るためには必要不可欠。

新潟県地域防災計画第23節トイレ対策計画が明記され、事業の体系においては「トイレ対策の責任部門」を定めている。

所 感

○避難者の生活を重視した生活支援、食事支援を官民でもう少し重要視したい。
いかに周りの人を助けるかことができるかという視点を持ちたい。

○キッチンカー、食堂、トイレ、シャワー、ベッド、テントが備蓄され、発災後短時間でパッケージとして被災地に届けられる仕組みづくりが重要である。

○プライバシーに配慮され、避難者が通常の生活を送るために、ヒトに主眼を置いたソフト面の人道支援が望まれる。

○ボランティア活動は、訓練された専門家集団であり、日当、交通費、労災保険等を充実させボランティアの位置づけを考えなければならぬと思った。

以上

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤弘己

会計年度	令和4年度	支出番号	6		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		17,670円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和4年11月21日	交通費	JR 東海	17,670円	●旅費内訳書との差額 ・新幹線復路自由席 ・東京メトロは請求しない (-870 円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
		資料購入費			●資料名
		その他 ()		円	
支出目的	国土交通省ほか陳情活動のため				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

駅-No 1244 領収書-No 30
窓口-No 102

領 収 書

加藤 弘 乙 様

金額 ¥17,670円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年11月21日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



様式第9号 (第7条関係)

令和 4年 12月 6日

湖西市議会議員 馬場 衛 様

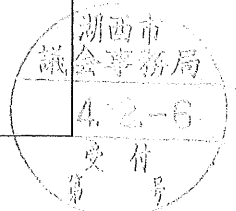
湖西市議会議員 加藤弘己

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和 4年 11月 25日 (金)
場 所	国土交通省・環境省、財務省、厚生労働省・参議院会館
内 容	令和5年度湖西市要望書の説明と陳情をしました。 <u>国に対する要望事項</u> 1 「浜松湖西豊橋道路」の早期実現に向けて 2 物流機能の向上を図る基幹道路の整備への支援について 3 「国道1号潮見バイパス」の交通事故削減対策事業の促進と渋滞対策について 4 一般廃棄物処理施設（ごみ焼却施設、余熱利用設備）・マテリアルリサイクル推進施設（リサイクルセンター）の整備に係る財政支援について 5 水道スマートメーターの市内全域設置に係る財政支援について
目 的 (市政との関連性)	令和5年度湖西市要望書の説明と陳情



<p style="text-align: center;">成 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「『浜松湖西豊橋道路』は必要な道路と認識しているのでしっかりと進めていきたい。地方から積極的に要望活動を続けることが早期実現につながるので、活動は続けてほしい。」と、温かい言葉をいただいた。また、地方は都市計画決定等をやるようになるので協力してほしいと言われた。 ・ R4年度補正予算では1兆2500億円の予算計上。道路補正は3300億円（微増）の予算を確保したので進めていきたい。 ⇒要望内容を理解していただいた。 ・ 平成27年から国に要望活動を続けたことが成果につながっている。 ・ 令和6年2月からのごみ焼却施設の再稼働に向け、基幹的設備改良事業及び余熱利用設備整備に二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金、リサイクルセンターの長寿命化工事に交付金を活用し事業実施をするためのご理解はいただきました。 様々なインフラ整備が必要であるが、ごみ焼却施設の取り組みは湖西市として重要でタイムリーな取り組みで国の理解と支援が得られている。 ・ 水道スマートメーターの財政支援については、IoT活用推進モデルとして市内北部地区の成果と今後の料金体系の見直し等の説明をした。 ・ 今後市内全域をスマートメーターに変更することで、配水量の平準化、施設の効率化コンパクト化等のメリットを理解していただいた。今後も湖西市をIoT活用推進モデルとして取り組んでいただけるように要望した。
--	--

《報告詳細》

◎ 国土交通省への要望活動には城内実衆議院議員が同席いただけた。

1 「浜松湖西豊橋道路」の早期実現に向けて

ルート決定：西側ルート⇒三河港と三ヶ日 JCT を最も短距離で接続。市街地の間を通過し生活環境への影響を抑制。



令和4年度⇒ 「都市計画・環境アセスメントを進めるための調査」

⇒ 5年度予定されている調査を着実に進めることを要望。



2 物流機能の向上を図る基幹道路の整備への支援について

浜名湖西岸土地地区画整理事業（約48ha）で、車載用電池の一大生産拠点となる事業が進められている。



国道23号豊橋東バイパスの供用により東西軸の幹線道路のネットワークは形成されたが市内からのアクセスは脆弱。



南北幹線道路となる（都）大倉戸茶屋松線は浜名湖西岸土地地区画整理事業により緑の部分（区画整理事業）は進められているが、赤の部分（市）大倉戸大平線（大倉戸IC入口交差点～浜名湖西岸土地地区画整理事業区域）を整備できるように国からの財政支援を要望した。⇒社会資本総合整備交付金事業（工業団地アクセス）

3 「国道1号潮見バイパス」の交通事故削減対策事業の促進と渋滞対策について

国道23号豊橋東バイパスが潮見バイパスと合流し交通量が増加した。潮見トンネル付近では追突事故が発生している。⇒景観美が抜群な為県境には工場も多く立地しさらに交通量の増加。

「道の駅潮見坂」には年間80万人の来場者がある。

⇒交通事故対策事業の促進と渋滞対策を要望

4 一般廃棄物処理施設（ごみ焼却施設、余熱利用設備）・マテリアルリサイクル推進施設（リサイクルセンター）の整備に係る財政支援について

基幹的設備改良事業、余熱利用設備整備に対し補助金、交付金を安定かつ継続的に支援をお願いした。



小林茂樹 環境副大臣

5 水道スマートメーターの市内全域設置に係る財政支援について

令和3年度から4年度の2か年に亘り、生活基盤施設耐震化等交付金（水道事業におけるIoT活用推進モデル事業）を活用して北部地区に水道スマートメーター（1800世帯）、超音波流量計（9基）を設置。

⇒取得したデータを産官学による共同研究

↓

流達状況の把握や残留塩素濃度の動向を把握

超音波流量計から30分間隔で取得するデータ活用⇒漏水の発見



本田 顕子 厚生労働大臣政務官

所 感

○自然災害に耐え、災害を克服し、安全安心して生活ができるような社会を作るために活用されるインフラ設備が必要であると再認識した陳情であった。

○陳情項目は、市民生活のために必要不可欠なインフラ設備です。様々なインフラ設備は毎年多額の維持費が必要となってきますが、将来に渡って継続的に成果と利益を出せるよう、しっかり管理していきたいものです。

○インフラ設備を利用した投資の回収を考えて地域の経済を生みだし活性化に結び付けたい。

○平成27年から陳情を重ねてきましたが、道路の本質はネットワークであると思います。湖西市においても道路のミッシングリンクを市長2代・3代かけて長期計画で解消すべきであると感じました。

○社会資本整備によって国土強靱化と効率的で信頼性の高い輸送システムを持ち経済力を伸ばすカギとなるよう今後も陳情を続けてほしい。

以上

○国陳情活動



宮本 周司 財務大臣政務官



片山 さつき 参議院議員



若林 洋平 参議院議員



牧野 京夫 参議院議

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

